



191

セントラル愛知交響楽団

定期演奏会



Tomo Masunaga

Anami Ichino

第191回 発売日：一般6/8 [会員先行 6/6.7]

30年以上に及ぶ名コンビ、安永と市野によるモーツァルト

2022.7/29 [金] 開場 17:45 / 開演 18:45

コンサートマスター / 安永徹 ピアノ / 市野あゆみ*

- ◆モーツァルト：ピアノ協奏曲第17番*
- ◆エルガー：弦楽セレナーデ
- ◆モーツァルト：交響曲第40番

*ピアノ協奏曲は当初予定しておりました第24番より変更になりました。



192

Hikaru Hoshi

第192回 発売日：一般8/3 [会員先行 8/1.2]

角田×阪田がモシュコフスキの歌を紡ぎ出す

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール最年少入賞 名古屋出身阪田知樹登場! 火の鳥1945も熱い

2022.9/23 [金・祝] 開場 13:30 / 開演 14:30 [14:10~ プレトークあり]

指揮 / 角田鋼亮(常任指揮者) ピアノ / 阪田知樹*

- ◆ラフマニノフ：ヴォカリーズ
- ◆モシュコフスキ：ピアノ協奏曲木長調*
- ◆ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」1945年版

三井住友海上しらかわホール TEL052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15 (地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定

プラチナ席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 / U25席1,000円

*未就学児入場不可 [U25は公演日に25歳以下対象、要身分証明書、座席指定不可、指定の場合は一般価格の半額、当回事務局のみの取扱い]

- チケット取扱い
- セントラル愛知交響楽団(郵送サービス有)
 - しらかわホールチケットセンター TEL052-222-7117
 - 愛知芸術文化センタープレイガイド TEL052-972-0430
 - チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 7/29(PCODE212-131) 9/23(PCODE212-133)

※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございますのでご了承ください。
※当回事務局・賛助会員・リスナー会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引価格でのご購入が可能です。[当回事務局のみの取扱い]

定期演奏会イベント

- 第192回 9/22(木) 10:30~11:20 公開講座 12:00~13:00 公開リハーサル
- 会場 / 名古屋文理大学文化フォーラム TEL0587-24-5111 入場無料・先着200名



Hideki Namai

お問い合わせ・チケットのお申し込み

セントラル愛知交響楽団

TEL052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00~17:30/土日祝休) チケットはホームページからもお申し込み頂けます。



主催 / 公益社団法人セントラル愛知交響楽団 共催 / 中日新聞社
 後援 / 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM◎AICHI
 協賛 / 三井住友海上(7/29のみ)・名古屋市美術館
 助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業)
 独立行政法人日本芸術文化振興会



1951年福岡に生まれる。1964年より江藤俊哉氏に師事。桐朋学園高等学校音楽科を経て、同大学音楽学部入学。在学中の71年に第40回日本音楽コンクールで第一位受賞。74年に同大学卒業。75年にヨーロッパに渡りベルリン芸術大学に入学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。77年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に第一ヴァイオリン奏者として入団。83年より2009年まで同楽団の第一コンサート・マスターを務める。83年～99年までベルリンフィル弦楽ソリステンのリーダーとして、96年～2001年までベルリンフィル・カンマーソリステンの第一ヴァイオリン奏者、又、ソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパや日本その他各地で多くの演奏を行なっている。市野あゆみとの共演によるシューマン、R.シュトラウス、フランク、ベートーヴェンのソナタ(ポニーキャニオン)、「ベストライブ コン서트」「ベルリンフィル・カンマーソリステン ライヴ イン ベルリン&東京」(ライヴノーツ)、「木もれ日の径・ソナタと小品集」(ALM)、又、オーケストラ・アンサンブル金沢とのライブ録音(ワーナー・クラシックス)等、多数リリースされている。2006年より洗足学園音楽大学・大学院客員教授。

東京芸術大学付属高校で田村宏氏に、同大学で安川加寿子氏に師事。在学中に安宅賞を受賞。東京芸術大学卒業後、フランスでピエール・バルビゼ氏に師事。1978年、マリア・カナルス国際コンクールに入賞。78年よりベルリン芸術大学に於いてクラウス・シルデ、クラウス・ヘルヴィッヒの両氏に師事。86年、同大学でのソリスト・コンサート試験に最優秀で卒業。マスタークラスでマリア・クルチオ、ジョルジュ・シェバックの各氏に師事。91年より96年までベルリン芸術大学講師を務める。96年～2001年までベルリンフィル・カンマーソリステンのピアニストとして、又、ソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパや日本他で多くの演奏を行なっている。安永徹との共演によるソナタ(ポニーキャニオン)、「ベストライブ コン서트」「ベルリンフィル・カンマーソリステン ライヴ イン ベルリン&東京」(ライヴノーツ)、「木もれ日の径・ソナタと小品集」(ALM)、オーケストラ・アンサンブル金沢とのライブ録音によるモーツァルト、ショスタコーヴィチのピアノ協奏曲(ワーナー・クラシックス)等、多数リリースされている。2006年より洗足学園音楽大学・大学院客員教授。

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2015年より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕作作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月より、セントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。2022-2023シーズンのハイライトとしては、セントラル愛知交響楽団「ブルックナー:交響曲第5番」「マーラー:大地の歌(室内オーケストラ編曲版)」、愛知県芸術劇場「モーツァルト:パステリアンとパステイエンズ」、京都市交響楽団「ブラームス:ドイツ・レクイエム」、大阪フィルハーモニー交響楽団「ベートーヴェン:ミサ・ソレムニス」等があげられる。<http://kosuketsunoda.com>

2016年フランス・リスト国際ピアノコンクール(ブダペスト)第1位、6つの特別賞。2021年エリザベト王妃国際音楽コンクールピアノ部門第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリエヴァンド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンジャー国際ピアノオリンピックではベートーヴェンの演奏を評価され、日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。クレムリン音楽祭では、オール・リスト・プログラムによるリサイタルをニコライ・ペトロフ氏が「世界一のリスト」と絶賞。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、及び同大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学にて学士、修士首席修了、現在同大学院ソリスト課程に在籍。世界的ピアニストを輩出し続ける「コモ湖国際ピアノアカデミー」の最年少生徒として認められて以来、イタリアでも研鑽を積み、パウル・バドゥラ＝スコダ氏に10年に亘り師事。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2022年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来、松川智哉を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

新型コロナウイルス感染症対策 ご協力をお願い

- チケット購入時にご登録頂く個人情報は会場内で感染者が出た場合、保健所等の指導のもとに提供する場合があります。ご了承ください。
 - 発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。
 - 会場内でのマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。
 - 出演者への贈り物・面会をご遠慮ください。
- ※2022年3月現在の対策です。変更となる場合があります。

